

2022年 山内地区春季大会 開催要項【Bクラス改訂版】

2022年5月28日
山内地区地区長 大久保
山内大会審判長 小林

1. 大会日程

監督会議：5月28日(土)
開会式：なし
試合予定日：6月5日(日)～
試合会場：美しが丘西G、嶮山公園G、あざみ野G
参加チーム：Aクラス4チーム Bクラス5チーム
閉会式：最終試合終了後
選手宣誓：なし

2. 表彰

Aクラス優勝：優勝旗・優勝杯・賞状
Bクラス優勝：優勝旗・優勝杯・賞状
敢闘賞：各チーム1名

3. 大会運営

- 雨天等による開催可否決定は第1試合開始150分前とする。
- A・B両クラスとも、リーグ戦総当たりとし、最多勝利チームを優勝とする。
2チーム同率の場合、当該対戦チームの勝者を上位とする。
3チーム同率の場合、決勝トーナメント(5回60分)を行う。
- 6年生はAクラスのみ出場とし、5年生以下はA・B両クラスに出場可能とする。
1日の投手の制限投球数は、両クラスとも70球とする。
【山内大会Bクラスルール】
 - 4年生以下の投手は投手板16mまたは14mを選択可能とする。
 - 1イニングの打者数は最多9名で攻守交代とし、申告敬遠は採用しない。
- Bクラスは5年生以下で構成するチームとし、A・B両クラスに出場する選手は、打順表の背番号欄に○印をつける。BとCの背番号は分ける。

重複選手の有無	Bチーム	Cチーム
元石川ベアーズ A	あり	—
嶮山ひまわり A	あり	—
横浜嶮山ファイターズ A	あり	—
元石川サンダーボルト A	なし	あり

- 1チーム9人での参加を認め、ユニフォームがなくても帽子と背番号があれば出場可能とする。
- 全試合において試合前に5分間のシートノックを行う。
- 3回以降10点差、5回以降7点差によるコールドゲームを採用する。
- 打者走者の1塁へのヘッドスライディングを禁止する。
- ベンチ及び応援席は白線にて境界線を作り、雨除け日除けのテント設営を許可する。
- 試合時間はAクラスは6回90分、Bクラスは6回80分とし、規定時間経過後は新たな回に入らない。

規定時間経過 時点の状況	先攻がリード又は同点	後攻がリード
先攻途中	その回の裏の攻撃も行う	先攻の攻撃終了時(裏はXゲーム)
後攻途中		その打者の終了時(裏はXゲーム)

をもって試合終了とする。

- (11) 同点の場合の対処～山内大会特別ルール～
- ① 規定時間経過未経験にかかわらず、タイブレークを1イニング行う。
 - ② 規定時間経過未経験にかかわらず、①の結果も同点の場合は、さらにタイブレークを1イニング行う。
 - ③ ②の結果も同点の場合は、抽選とする。

【タイブレーク(旧呼称：特別延長戦)】

前回からの継続打順で、走者は前位の2人とし(投手は除いてもよい)、無死1・2塁にて1イニングを行う。

- (12) 審判は原則3人制で行う。

- (13) 特別継続試合(青葉区少年野球連盟大会規定 3.(9)に準ずる)

試合が4回以前に中止になった場合でも、4回を過ぎ正式試合になって同点の場合でも再試合にしないで、後日に特別継続試合として、もとの試合の中断された箇所から再開する。両チームの出場選手と打撃順は、試合が中断されたときと全く同一でなければならない。ただし、規則によって認められる交代は許される。また、もとの中断された試合に出場して、他のプレーヤーと交代してその試合から退いたプレーヤーは、再開される試合に出場できない。中断された試合と通算して規定時間を経過したら、新しいイニングに入らない。

【参照】雨天試合中止による対処

中止時 リード	4回表		4回裏	
	途中	終了	途中	終了
先攻	特別継続	特別継続	特別継続	先攻の勝利
後攻	特別継続	後攻の勝利	後攻の勝利	後攻の勝利
同点	特別継続	特別継続	特別継続	特別継続

- (14) その他、2022 公認野球規則・競技者必携 2022・青葉区少年野球連盟大会規定に準ずる。

- (15) ボークについて

Aクラス：明らかなものは最初から取る(審判判断により指導・説明)。

Bクラス：初回は審判より注意・指導を行う。

- (16) ボールボーイ&ガール・バットボーイ&ガールについて

ホームベース後方のファウルボールについては攻撃側チームが担当する。

ボールボーイ(ガール)・バットボーイ(ガール)もヘルメットを着用する。

- (17) 捕手はレガーズ、プロテクター、スロートガード、ファウルカップを必ず着用すること。

ファウルカップは審判立会いのもと、攻守を決める時に持参しチェックを受けること。

- (18) Re エントリー(再出場)の認可

- ・ベンチ入り選手が全員出場した後、選手の故障・体調不良等により交代を要する場合、試合から退いた選手でも、一度に限り再出場することを審判員が認める。

- ・再出場する場合は、試合から退いた順に健全な状態の選手の再出場を認める。

- ・再出場の場合、選手交代申告者は、再出場であることを球審に伝える。

- (19) 選手の救護要員として、父兄2名のベンチ入りを認める(着帽推奨・スカート&ヒール不可)。

- (20) 1イニングの攻撃時間が20分程度経過後、守備側の給水タイムを設ける。

- (21) バックネット裏からの撮影は、カメラの固定のみとし、声援は禁止とする。

4. 各グラウンドの利用に関する注意事項

- (1) グラウンド内の車両の走行は、最徐行とし、砂埃がたたないように注意すること。

- (2) グラウンド内に駐車する車両は、フロントガラスにチーム名を掲示すること。

- (3) 午前9時までは、近隣住民への配慮として、大声・掛け声を自粛すること。 以上